

色とりどりの花々で 地域を明るく元気に！

藤里支店では5月19日に、藤里幼稚園の年長園児を対象に、農作業体験から作物の成長と収穫の喜びを感じてもらうことを目的に、園舎内の花壇やプランターを活用して支店職員2人と営農指導員が先生役となり食農教育活動を行いました。

園児たちはペチュニアやガザニアの花苗を小さな手で優しく持ちながら花壇に丁寧に植えていました。1人の園児が「大きくな〜れ、大きくな〜れ」と声に出すと、隣の友達にも伝わっていき、いつの間にも園舎内は園児たちの「大きくな〜れ、大きくな〜れ」の大合唱で包まれました。

藤里支店の畠山支店長代理は「楽しそうに土とふれあう園児たちの笑顔に、心が癒された。未来を担う子どもたちとJA職員がふれあい、「農」について楽しく学んでもらうきっかけ作りを今後も企画していきたい。」と園児たちとの交流を楽しんでいました。

支店を拠点とした協同活動
地域のきずな
～女性部活動～

のしろ東支店では5月11日に、JA女性部能代支部員の手ほどきを受けながらプランターにマリゴールドやペゴニアなどの寄せ植え作業を行いました。

この活動は、地域並びに支店美化運動の一環として毎年行われており、寄せ植え作業を女性部と一緒に、夏場の草取りや日々の水やりなどの管理は支店職員が担って、支店前を鮮やかに彩ります。

作業を行ったのしろ東支店の柴田翔輝さんは19「同支店で行われる美化運動は今年が最後。お世話になった地域の皆さんに、綺麗に咲き誇った花々を眺めてもらえるように、率先してこれから水やり作業などを頑張ります。」と気合十分。

のしろ東支店は令和4年3月25日をもって閉鎖することとなっており、翌日から現在の本店（能代市富町）と統廃合して、現在建設中の新本店（能代市一本木）に拠点を移します。

高橋のしろ東支店長は「今年がのしろ東支店としてのラストイヤー。これまで、地域の皆さんから大変お世話になったのしろ東支店から感謝の気持ちをこめて、支店を拠点とした活動を積極的に企画し、地域の皆さんに恩返しする1年にしたい。」と話します。

各支店が地域に根差し、組合員はもとより、地域住民から愛され、特色ある支店づくりに注力した運営を追求していきます。